

# はにい

## センテンスカード

平成26年1月8日

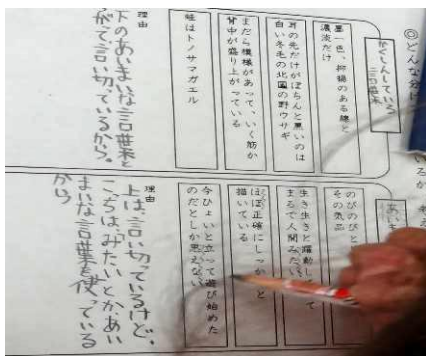
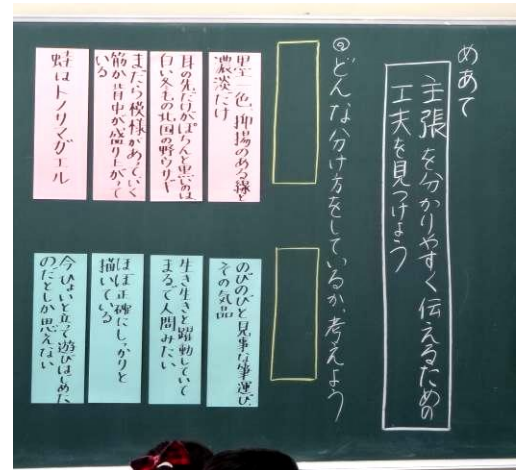
6年生の国語。「『鳥獣戯画』を読む」の4時間目です。

「(筆者の)高畑さんは、主張をわかりやすく伝えるために、たくさんの工夫をしています。どんな工夫をしているのか見ていきたいと思います。」

授業の始めに、今日のめあてをはっきりさせました。「そのために2段落目の8つの文をバラバラにして、2つに分けてみました。」

教師の用意したセンテンスカードです。黒板に、8つの文を書いたカードを2段に貼りました。上が赤いカード。下が青いカード。

「さて、先生はどんな分け方をしたでしょう。」



一人の児童は、上が「かくしんしている言葉」、下が「あいまいな言葉」としました。

上の理由は「下のあいまいな言葉とちがって、言い切っているから」、下の理由は「こっちは『みたい』とか、あいまいな言葉を使っているから」

本文から根拠を書いています。



別の一人の児童は、上が「動物」、下が「人間」です。これもわかりやすいですが、理由はどうでしょう。

上の理由は「ウサギ、トノサマガエルと書いてあるから、動物かなと思った」

下の理由は「今ひょいと立って遊び始めたって書いてあるから、人間かなと思った」

彼も、本文から根拠を引き出しています。



全員が自分の考えを書き終えて、友だちとの対話になりました。

さあ、ここから学び合いです。

この授業、みなさんどう思いますか？『はにい』は、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp